

筑心

chikushin

筑心会

vol.22

2012 JULY

平成24年7月1日発行

温故

Chikushi High School Alumni Association

筑心

www.chikushin.net

発行 福岡県立筑紫高等学校
同窓会 筑心会

www.chikushin.net

祝 筑紫高校創立40周年



在校生のために
私たちが出来ること。



今年の懇親会は「グランドハイアット福岡」で開催!!

第37回「筑心会」懇親会 / 2012年8月11日(土) 16:30受付

ご挨拶

「筑紫高等学校創立 四十周年を寿ぎて」



名誉会長(学校長)
友野 晃

福岡県立筑紫高等学校同窓会「筑心会」の広報誌「筑心」第二十二回の発行を心よりお祝い申し上げます。

私は本年四月に校長として着任いたしました友野と申します。日頃から筑心会の皆様には本校の教育活動に多大なるご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

まず、最初に、忘れることのできない東日本大震災から一年と半年が過ぎようとしております。あらためて犠牲になられました方々へのご冥福をお祈りいたしますとともに、我が国の喫緊の課題である被災地の一日も早い復興・復旧を心から願うものであります。

さて、本校は、昭和四十八年に開校して、爾来四十年の長きにわたり、一万五千名余の卒業生が国内外で活躍されておられ、今年で創立四十周年を迎えます。この間、学校では同窓会をはじめ父母教師会、振興会など多くの方々からご支援をいただきながら、「創造・敬愛・剛健」の校訓のもとに、平和的な国家

及び社会の形成に貢献できる人材の育成を目指して、校是にあります『師弟同行』の精神を体現する教育活動を実践してこられました。

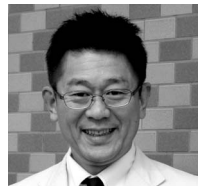
その結果、在籍している千二百名(各学年十クラス四百名)の生徒は、学業や部活動をはじめ、様々な分野で素晴らしい実績を残しています。これら生徒の前向きな取り組みに対し、地域から厚い信頼と熱い期待が寄せられています。

ところで、創立四十周年行事に当たっては、木原同窓会会長を実行委員長として、PTA、振興会、学校を母体とする実行委員会が企画・運営を行うこととしており、記念式典、記念誌の刊行、記念事業を活動の大きな柱としております。

記念事業としては、夜間照明設備やトレーニング機器の設備拡充、校名及び『筑紫魂』の表示工事、学校行事等の支援、部活動における、県内外の学校を招待しての記念試合(野球部は対筑紫台高校、サッカー部は対新宮高校、ラグビー部は対関西学院高校)など、生徒の教育活動支援をコンセプトに、年間を通して事業を実施いたします。これら事業に對し、同窓会の皆様には特段のお計らいをいただきましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

最後になりましたが、今後とも、筑紫野の地に凛として輝く県立高校として高い評価を得ている本校の生徒一人ひとりが、自ら学び、自らの力で夢を掴むことができますよう、皆様方との絆をより一層強めてまいりたいと考えております。

どうぞよろしく願いたします。



「新しき伝統校へ」
同窓会会長
木原 寿

筑心会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、母校は1977年11月の創立以来、今年で40周年を迎えますが、この機会にと周年記念誌に目を通しましたところ、創立10周年記念式典での初代重松校長のお話の掲載があり、式典での話にはなかつたものの「この二項だけは」と記念誌に併載希望された言葉がありました。

その二つは「古人の跡を求めず」という言葉で、「先人達の残した形跡や行事を真似るだけではだめで、行事の形骸化やマンネリ化に陥る事を自戒し、先人達が求め狙った原点を踏まえて歩み続けよ」と述べられています。

また、今つは、校歌に歌われる「新しき学園」についてであり、「新しいというのは設立の新旧ではなく、創造的英知に満ち、未踏の世界を望みつつ未知のものに挑戦する意欲にあふれ、清新な活力が漲っている様子を言うのであり、何十年経つても新しき学園、即ち、若々しさをもった学校であつて欲しい」と述べられています。

創立40周年に加えて、私ども筑心会も新しく37期生が仲間に加わり会員数も15000名を超え、筑紫高校は県下でも有数の歴史と同窓生の厚みを持つ伝統校の仲間入りを果たす時期に來ております。

母校が今後も、これまでにご尽力いただいた多くの先人達が求めた志を原点とし、且つ若々しさをもった、いわば「新しき伝統校」として歩み続けますよう皆様と共に支援していきたいと考えますので、今後とも宜しくご協力をお願い致します。

恩師往来

○退職

- 大和 豊(校長)
- 桐明 久美子(家庭)
- 大石 芳江(主任実習助手)
- 松尾 節(企画主査)

○転出

- 渡部 一雄(英語)
- 山崎 尚美(国語)
- 古賀 伊彦(社会)
- 白石 健(数学)
- 山下 俊子(数学)
- 森本 由起子(理科)
- 福島 治彦(理科)
- 田中 友美(英語)
- 安永 久子(家庭)

- 瀨戸口 朋子(数学)
- 笠井 克敏(保健体育)
- 滝田 恵子(家庭)
- 尾崎 文秋(数学)
- 柳 みどり(英語)
- 森藤 翔士(実習助手)
- 森田 千尋(学校司書補)

- 山崎 尚美(国語)
- 川口 明美(家庭)
- 山崎 孝子(家庭)
- 木村 誠(数学)
- 棚町 敏樹(英語)
- 烏添 未奈美(保健体育)
- 坂田 直子(事務主査)
- 山口 康子(事務主査)

- 友野 晃(校長)
- 井上 直子(国語)
- 箱嶋 雅敬(数学)
- 六見 陽(社会)
- 林 節子(英語)
- 山崎 孝子(家庭)
- 木村 誠(数学)
- 棚町 敏樹(英語)
- 烏添 未奈美(保健体育)
- 坂田 直子(事務主査)
- 山口 康子(事務主査)

- 友野 晃(校長)
- 井上 直子(国語)
- 箱嶋 雅敬(数学)
- 六見 陽(社会)
- 林 節子(英語)
- 山崎 孝子(家庭)
- 木村 誠(数学)
- 棚町 敏樹(英語)
- 烏添 未奈美(保健体育)
- 坂田 直子(事務主査)
- 山口 康子(事務主査)

- 友野 晃(校長)
- 井上 直子(国語)
- 箱嶋 雅敬(数学)
- 六見 陽(社会)
- 林 節子(英語)
- 山崎 孝子(家庭)
- 木村 誠(数学)
- 棚町 敏樹(英語)
- 烏添 未奈美(保健体育)
- 坂田 直子(事務主査)
- 山口 康子(事務主査)

- 友野 晃(校長)
- 井上 直子(国語)
- 箱嶋 雅敬(数学)
- 六見 陽(社会)
- 林 節子(英語)
- 山崎 孝子(家庭)
- 木村 誠(数学)
- 棚町 敏樹(英語)
- 烏添 未奈美(保健体育)
- 坂田 直子(事務主査)
- 山口 康子(事務主査)

第36回筑心会懇親会報告

皆様、昨年の第36回筑心会懇親会に多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。当日は多くの卒業生、ご来賓の方々にお越しいただきました。当番幹事同、厚くお礼申し上げます。

昨年は東日本大震災がおき、改めて普通の生活の有り難みや、人との繋がりを考えさせられた一年でした。私達も筑紫高校という繋がりを持っています。そういう繋がりを感ずってもらえ、そして、また来々となるような懇親会にすべく、当番幹事同でお世話させていただきました。

懇親会では、先生方からのビデオレターやお手紙の紹介や、筑紫高校とゆかりのある本物の出演者による特別番組「チクシデス」の放映などを行いました。「チクシデス」では、現役の放送部員に出演していただいたり、卒業生の今の活躍や実態、今と昔の筑紫高校の違いなども紹介させていただきました。様々な繋がりを、楽しく感じていただけたと思います。



ほかにも、オリジナルグッズの販売や抽選会、懐かしいボンビタル、今の筑紫高校内外(校舎内、朝倉街道駅、学校、国道3号線、学校、農道など)のDVD上映もさせていただきました。同級生や先輩・後輩、そして恩師の方々との思い出話のネタにもご活用いただけたと思います。また、34回懇親会から継続されている託児サービスなどもあり、小さいお子様の姿も多く見られました。

短い時間ではありましたが、お楽しみいただけただけではないでしょうか。これもご協力いただきました関係者様、そして皆様のおかげだと感じています。今度お礼申し上げます。

本年も懇親会に向けて、当番幹事をはじめ、多くの関係者が活動しております。

是非ご参加下さい。8月11日にお会いできることを楽しみにしております。

平成23年度当番幹事同



筑心会 関東支部 第9回総会報告

関東圏在住の同窓生の皆様、如何お過ごしですか？昨年10月22日に開催した第9回筑心会関東支部総会には、多数のご参加ありがとうございました。

当初は東日本大震災の影響もあり中止も考えましたが、この様な時期だからこそ元気を出して行きたいと考え開催に踏み切りました。今回は、東京スカイツリー開業に因み『浅草』で開催しました。当日は生憎の雨模様でしたが、夕方方には雨も上がり間近でスカイツリーを見

る事ができ、参加頂いた来賓の先生方や同窓生の皆様にも喜んで頂けた事と思います。

また、会場で東日本大震災の募金活動も行い、集まった募金は日本赤十字社に寄付を致しました。皆様ご協力ありがとうございました。

当支部も、同窓生の皆様との絆を大切に活動して参ります。今後ともよろしくお願いたします。

筑心会副会長・関東支部長 中森 秀樹
第9回総会幹事長 原口 大輔



筑心会では、次代を担う現役生徒を支援するために、平成21年度より『同窓会奨学金』制度を設けております。経済的な理由により就学が厳しい現役生徒を一人でも多く支援できるよう、多くの同窓生からのご寄付をお願い申し上げます。

寄付のお願い

第37回 筑心会懇親会案内

筑紫高校は今年創立40周年を迎えます。

その記念すべき年に行われる筑心会懇親会（卒業生全員で行う同窓会のことです）のご案内を致します。

本年度は16期生（平成2年度卒業）6期生・26期生・36期生が当番幹事を務めます。日程は**8月11日土曜日**、誰もがお盆休みに入る？直前のまさにベストタイミングに「**グランドハイアット福岡**」にて行われます。遠方にお住まいの方も、なかなか休みが取れない方も、気兼ねなく参加できる日程となっております。またお子さんのいらつしやる方も**託児所を準備**しておりますので安心してお越し頂けます。帰省の前に・家族でお出かけの前に・お墓参り前にぜひご参加ください。お待ちしております。

この懇親会の目的は「**青春の3年間、自分の人生に影響を与えてくれた筑紫高校での時間・仲間・空間を思い出し、改めて絆を深める**」事です。卒業してからそれぞれ環境も変わり、仲のよかった友人とも疎遠になつてしまつてはいませんか？しかし、改めて会う機会を作るのは難しく、探偵ナイトスクープにでも頼まない限り難しいですよね？そこでぜひこの懇親会をきっかけにしてみませんか？当時は懐かしみ、さらに絆を深めましょう。

現在幹事会では、皆さんに楽しんでいただけるよう、プログラムを検討中です。そして多くの懐かしい仲間を集めるため、インターネットのこの時代に逆行するようなアナログ

作戦を展開し、電話や手紙で参加者を募っております。

「あの人に会いたい」

「あの人はここにいる」

「街でバツタリあの人に会った」

「最近こんなメンバーで同窓会をした」...

など些細なことで結構ですので情報を当番幹事にお寄せください。（個人情報には十分に配慮いたします）その情報を基に一人でも多くの仲間を集めたいと思っています。

あなたの8月11日の予定は何かがありますか？

このページが目留まったらあなた！その瞬間が仲間との絆の始まりです。

まずはスケジュール帳に（もしくはスマートフォン）のスケジュールに「記入してください」

「**筑紫高校の同窓会**」と。そして現在繋がっている友人に電話をしてください。

「**一緒に同窓会にいかんか？**」と。

当日、筑紫魂を持った多くの皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。そしてぜひ楽しんでください。

このころより参加をお待ちしております。

当番幹事一同

筑紫ペッパー 参加店大募集!!

飲食店、雑貨店などで自分でお店をされている同窓生の皆さん!! 同窓生にお店に来てもらいたいと思いませんか?そんな皆様のお手伝いするため、今年の懇親会では〇ットペッパーならぬ「**筑紫ペッパー**」を配布します。是非皆様のご参加をお待ちしております。詳細は、同封のチラシをご覧ください。



託児サービス あります。

懇親会に参加したくても子供を預けるところがなくて行けない・・・
そんなお母さんたちに安心して同窓会を楽しんでもらえるよう今年も託児サービスを行います

利用料無料!!

詳細は、同封のチラシをご覧ください。

第37回筑心会

- 【日時】 8月11日(土)
- 【受付】 16時30分～
- 【懇親会】 17時～
- 【場所】 グランドハイアット福岡
- 【会費】 当日徴収します。
- 1～16期 6,000円
- 17～26期 5,000円
- 27～33期 4,000円
- 34～36期 2,500円
- 37期 1,500円

当日はお釣りが出ないようご協力ください。

◎ 出席予定の先生方 ◎

白垣 政康	島添 未奈美	古賀 朗子	日下部 成邦	木村 厚生	城戸 英敏	北島 龍雄	小川 文一郎	大塚 和広	大久保 芳隆	江口 理香	内田 真司	池田 悦子
(五十音順)	吉田 和裕	吉井 理恵	安森 美保	明神 恭子	松尾 キヨミ	福田 修	樋口 隆基	仁田原 秀明	中村 東亜子	中嶋 利昭	津田 香織	白水 紀行

お問合せは 筑心会へ

- 電話：092-924-1511
- E-Mail：info@chikushin.net
- URL：http://www.chikushin.net

第7回 OB座談会実施報告と感想

開催日:2011年11月5日(土)
場 所:筑紫高校

09:10~09:30 開会式
09:30~09:50 会場への移動
09:50~10:40 座談会(前半)
10:40~10:55 休憩・生徒移動
10:55~11:45 座談会(後半)
11:45~12:15 講師控室にて閉会式
13:00~16:00 反省会及び意見交換会



今年も多くの方々の熱い思いが集まって、無事に開催することができました。昨年に引き続き、各分野で活躍している18人のOB・OGが集まり、現役生のみならずの進路選択の助となるべく思いを届けることができました。今年で7回目ということもあり、筑紫高校の先生方や現役生に、学校行事の一つとして受け入れていただき、いろいろと配慮していただきながら、準備も滞りなく行くことができました。

6月から実施委員会を開き、これまで積み重ねてきたOB座談会の経験を踏まえながら、**現役生の進路に役立てるという狙い**とともに、**OBの方々にもできるだけ現役生とのつながりをもってもらい、筑心会としてのつながりにも活かしてもらいたい**との主旨をあらためて確認しました。

今回は、当番幹事の15期生を中心に、さらに他の期の先輩たちに話を広げていくという方向で、講師の募集を行いました。筑心会ホームページを見てのエントリーや、たくさんの方々のご協力をいただき、**上は7期から、下は30期まで幅広い層から、様々な場所で活躍している方々に講師として来ていただく**ことができました。各分野についての詳しい仕事の内容だけでなく、講師自身の高校生活の思い出や、進路を決定するまでのエピソードな

ど、**現役生にとつてまさに、今聞きたいことがたくさん詰まった座談会**となりました。

座談会後、現役生の皆さんに3行感想文をカードに書いてもらいました。率直な意見の中には「そんなこと考えていたのか」といった楽しい感想もあり、講師の方も嬉しそうに読んでいました。

関係者が集った反省会兼意見交換会では、「高校生に対して話すのは難しかった」「楽しく出来ました」という感想の方もあれば、「俺が一番おもしろかったハズだ」と豪語する人や、「来年は絶対にもっと笑わせてやる」と早くもリベンジを誓う人など、それぞれの講師にとつても思い出となった座談会だったようです。講師やサポーターの皆さんは、**久しぶりに母校に行つて懐かしく思うとともに、生徒とのふれあいを通じて自分自身も元気をもらった**のではないのでしょうか。

今回、ご協力いただいた方々には心より感謝いたします。

最後になりましたが、多々アドバイスをいただきました木原同窓会会長をはじめ、色々とご配慮いただいた大和校長先生、そして筑紫高校の先生方、本当にありがとうございます。今年度のOB座談会もよりしくお願いたします。

OB座談会実施委員同

OB座談会実施委員同

OB座談会実施委員同



「OB座談会」感想文

対象学年は現3年生(38期生)、いずれも一部抜粋



受講した生徒さんの感想文を拝見し何かしらメッセージを伝えることが出来たのかな、と感じました。そして嬉しくて涙が出ました。きっと筑紫生だからこそ、ここまで心に響く感想を書けるのだと思います。これも諸先生方の真心あればこそ、だと思います。改めて筑紫高校のOBで良かったと感じました。(講師 M・K)



うまく伝えたい事が伝わったか不安ですが楽しかったです。1回目と2回目ですペースを変えてみたり工夫してみましたのが中々難しいですね。今日の経験は自身の仕事にも活かさせていただきます。そして高校生の「あいさつ」、「態度」、これは立派ですね。筑紫の財産だと思います卒業後も持ち続けてほしい。(講師 Y・M)



私の方が貴重な体験をしたのではないかと考えています。生徒達の様子は、「あの頃の自分達」と変わらないことに気付きました。彼らの人生に関わる機会を得られたことに深く感謝いたします。緊張しましたが、しっかり私を見て話を聞いてくれた生徒もいて、いつか何処かで思い出してくれたらと思います。(講師 R・I)



先輩の話から、悩んだり苦勞しても最後まであきらめずに目標に向かっていけば必ず道は拓けることが分かりました。また「自分にベクトルを向ける」という言葉は一番心に残っています。今後は自分に悪いことが起こったり、自分に関係ないことが起こっても自分にベクトルを向け向き合っていくべきだと思います。(生徒 A)



先輩の話で一番印象に残っているのは「自分の長所を見つける」です。私には将来何をやるか明確なものはありませんでしたが、「自分の長所は?」、「それを活かす仕事は?」という所から考えればいいんだと聞いて将来に対する不安がなくなりました。他にも高校での5分前行動なども社会に出て役立ちそうです。(生徒 B)



勉強嫌いな自分に対し「楽しく勉強しろ」という言葉はとても心に残りました。その為にも「小さな目標を掲げろ」を実行していきたいです。今までは大きな目標ばかり作り、達成することが中々出来ませんでした。小さな目標なら達成できると思うし、それが自分の自信にもなります。頑張れそうな気がします。(生徒 C)

筑紫高校、四十にして惑わず！王道を進む。

卒業生の皆さん！あなたは第何期生ですか？なんと、今年の新入生は四十期生なのです。我々が在学中には想像もつかなかった数字です。あの頃は「新設校」だった我が母校も、歴史と実績を兼ね備えた伝統校へと進化しています。

学校創立四十周年の記念式典は十月二十七日(土)に行われます。厳粛な式典の後は「卒業生によるトークセッション」が行われる予定です。他校では「記念講演」という枠で、お一人の講師に講演をさせていただくという形が多いと思います。しかし、本校では、様々な分野で活躍されている卒業生をたくさん呼びびて、筑紫で学んだことが今どう生きていくのかを、現役生に向けて語っていただくというトークセッションの形式で行います。同じステージ上に代表の生徒たちも登場します。この形式は三十周年記念式典の際にも行いましたが、大変好評で、時間があつたという間に過ぎ、生徒の顔が生き生きとしていました。同じ学び舎で学んだ先輩たちが活躍されているのを目の当たりにし、自分もそうなりたい！と夢をふくらませるきっかけになるのではないのでしょうか。先輩方の活躍は、生徒たちにとっては「生きた教材」なのです。

当日登壇予定の卒業生は、

(司会)西川さとりさん(十八期生)

F M福岡アナウンサー

長谷川 眞司さん(三三期生)

あかね助産院

白水 徹也さん(十二期生)

京都大学准教授

青堀 カさん(十九期生)

ホテル料理長

の皆さんです。今着々と準備を進めているところですよ

次に、四十周年の記念事業として、夜間照明設備の設置を進めています。部活動加入率が非常に高く、実績も上げている筑紫高校にとって、この設備は本校の益々の発展に必要不可欠だと確信します。

創立四十周年を迎えるに当たり、シンボルマーク案を生徒たちから募集しました。二百点に及ぶ作品の中から、二十八期生の三角徳子さんの作品が選ばれました。



「筑紫高校の歴史を見守り続けてきた宝満山と本校建学の理念を象徴し、校章にも描かれている梅を配した。梅の花とつぼみは『師弟同行』という校是を表している。美しく咲き誇るこの梅の花のように、今後も筑紫高校が県下に誇れる学校として発展していこう」という思いをこめて「とうとうコンセプトで作られた作品です。今後、様々な出版物に花を添える予定です。」

その他に毎年恒例の筑紫祭や体育大会にも「創立四十周年記念」の冠がつきます。二十八期生は、周年記念の年の最高学年というだけでなく、「筑紫史上最高の学年に！」を合言葉に、文武両道を目指し励んでいます。部活動で活躍する生徒たちによる「記念招待試合」も複数の部で計画しています。

この四十周年記念事業が、生徒一人ひとりの顔をさらに輝かせ、卒業生や保護者、地域の方々に筑紫高校の素晴らしさを改めてご理解いただくための、良い機会となるよう準備を進めています。

卒業生の皆様におかれましても、どうか母校の益々の発展を温かく見守って下さい。そして、母校の発展のために皆様の力を貸していただければ幸いです。

第8回OB座談会 開催のお知らせ

OBが現役生へ贈るキャリア支援プログラム「OB座談会(F&REALITY)」もお陰さまで8年目を迎えます。

年々盛り上がりを増す当会は、昨年までに約120名のOBに講師としてご参加いただき、学校やご父兄からも大変高い評価をいただいております。講師を終えたOB全員が口を揃えて最後に出す言葉は「楽しかった！またやりたい！」。やはりこの言葉に尽きるようです。「OB座談会実施委員会」は本年もOB講師20名を、筑心会のホームページで募集しています。

あなたも後輩のために一肌脱いで、悩める高校生たちと貴重かつ楽しいひと時を共有してみませんか。自薦他薦は問いませんので、皆さまの応募を心よりお待ちしております。

※申し込み多数の場合は「OB座談会実施委員会」で検討の上選定させていただきます。

公務員	国家公務員、官僚、役所、警察官、消防士、自衛官、検察、裁判所
教育系	大学教授、教員、児童教育、博物館、図書館
政治・法学系	政治家、弁護士、行政書士、司法書士、判事、検事
経済・金融	経済一般、銀行、証券、生保、損保 等
国際	業種は問わず、世界のフィールドで活躍されている方
マスコミ・広告	放送、新聞、出版、広告代理店、製作、コピーライター
文化・芸術・スポーツ	クリエイティブ、文化的なお仕事、スポーツ関連事業に従事の方
運輸・物流	航空、鉄道、船舶、運送、倉庫
理工	研究所、天文、地球、宇宙、気象
IT	SE、WEB 関連、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、ゲーム産業
製造・電機・電子	メーカー(家電、食品、自動車等)、他ハード関連
建築	建築家、ゼネコン、ハウスメーカー、不動産、土木系
エネルギー	電力、ガス、石油 等
農業・生物・環境	農業、バイオ、生物化学、動物園、植物園、草花系
医療・保健・福祉	医者、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、児童福祉、高齢者福祉、介護
サービス・販売	接客全般、ホテル、デパート、外食産業、流通業 等

17期・7期・27期・37期の皆様、 来年は懇親会の当番幹事です

一年に一度、主に8月に開催されております「筑心会懇親会」。毎年、同窓生の多くが参加しています。その数は250名前後で、これに恩師数十名を合わせると約300名程度が参加しています。

現役の吹奏楽部の演奏でオープニングを飾り、懐かしいボンビタルや記念グッズの販売、プレゼント抽選会など、運営を担当する当番幹事の楽しいプログラムに沿って宴が進行していきます。毎年参加されている同窓生からは「今年はどうな催しがあるか、いつも楽しみです。」という嬉しいお声も。

このような楽しい懇親会ですが、運営については当番幹事制をとっております。来年(平成25年度)の運営を担当する当番幹事は、17期生がメイン担当となっております。そして、7期生・27期生・37期生がサブ担当となります。来年の運営の参考のためにも、まずは今年度の懇親会への参加をお願いいたします。

1期生同窓会「針摺会」のご案内

しんじゅうかい ※

第6回針摺会を開催します。今回は中洲・那珂川沿いの小洒落たバー「Mitsubachi」です。ロケーションも抜群。皆さんのお越しをお待ちしています。

と き：9月22日(土・祝日) 15:00~18:00

ところ：Bar & Dining Mitsubachi
福岡市中央区春吉3-4-6
[5th HOTEL EAST]1F
TEL.092-739-3800

会 費：6,000円

※(故重松校長が命名)

当番幹事紹介

筑心会の皆様、いかがお過ごしでしょうか？
第37回筑心会懇親会の当番幹事を務めさせて頂くこととなりました16期生の目原哲哉と申します。縁あって筑心会懇親会の開催に携わる事になりましたが、そんな私の心境及び当番幹事の活動等について紹介させていただきます。

筑紫高校を卒業して今年で22年ですが、高校時代の思い出は色濃く残っています。授業中一生懸命勉強しても物理がどうしても理解できなかった事、駅伝で前の選手に追いつけず悔しかった事、ラグビー部に所属していましたが、2日に1回三キロ走る直前の気持ちなど、昨日の事の様に思い出されます。歳は無駄に重ねて来ましたが、思い出の中心及び現在の自分の人格形成の基礎はあたたか3年間の中に凝縮されており、母校に対しては感謝の気持ちでいっぱいです。

そのような思いで当番幹事としての活動を開始しました。なるべく多くの同級生に携わってもらった方が盛り上がりと思ひ声掛けをしました。皆快く引き受けて頂き同級生の絆を実感しました。そして皆当然仕



事を持ち忙しい中でも、積極的に明るく活動している姿に、私自身も良い刺激を日々受けている毎日です。

幹事会は同級生の勤務する会議室で行ったり、同級生が経営するお店で行ったりしています。ついつい昔話に花が咲き脱線する事もしばしばありますが、皆活発に意見を交換し合い本番に向け着実に前進しています。打ち合わせ中に話が脱線した場合、本来進行役の私が議題を本線に導かねばならないのですがつい乗っかってしまい、結果なかなか結論が出ず皆から怒られるという展開によくあります。幹事のみなさん今後は気をつけます。(苦笑)

現在改めて実感していますが、筑心会懇親会は同級生のみならず、筑紫高校卒業と云う同じ経歴を持つ仲間が一同に会す数少ない機会です。同級生やお世話になった先生方、先輩方や後輩の皆さんと触れ合う事により、確実に刺激になると思います。我々も皆様方が出席されて有意義だったと思えるよう出来る限りの準備をしていきます。

今年の筑心会懇親会は、8月11日(土)に開催されます。お盆休みの方も多いと思ひますので、同級生をお誘い合わせの上是非ご参加下さい。多くの皆様にお会いできることを心より楽しみにいたしております。

当番幹事一同

第37回筑心会懇親会 当番幹事

■幹事長	目原 哲哉 (16期)
■幹事	田嶋 潤 (16期)
小山田 三香 (16期)	藤 隆幸 (16期)
神崎 安希子 (16期)	西牟田 克則 (16期)
古賀 尚美 (16期)	前田 祐司 (16期)
古賀 ひとみ (16期)	溝尻 明子 (16期)
高木 さやか (16期)	横田 崇学 (16期)
高田 政樹 (16期)	矢野 芳江 (26期)
	古森 望智 (26期)
	梅原 智 (26期)
	水原 智 (26期)
	横田 崇学 (16期)
	溝尻 明子 (16期)
	前田 祐司 (16期)
	藤 隆幸 (16期)
	西牟田 克則 (16期)
	田嶋 潤 (16期)

ラグビー新人大会 福岡県優勝 九州準優勝・全国選抜大会出場

平成23年度新人大会。これまで幾度となく接戦を演じながら、この7年間勝つことが叶わなかった相手をとつとつ打ち負けし、ついに県優勝を手にした。それは、5期連続全国制覇を誇る東福岡の国内連続無敗記録を90でストップするという快挙のニュースとなつて、スポーツ新聞のみならず、全国版の一般紙や経済紙の誌面をも飾ることとなった。全九州新人大会では今回から各県1・2位で分けたブロックが無くなり、全16校でのトーナメントに変更された。それにより共に福岡県勢が勝ち上がり、再び東福岡と交えることになった決勝戦。県大会の雪辱に燃える東福岡に連勝することはできなかったが、見事準優勝を果たし高成績での全国大会進出となった。

熊谷の舞台では、無敗の東福岡に土を付けたことで注目を浴び、大きな期待と重圧を背負って戦うことになった。全国の洗礼を浴びる結果に終わったが、初戦にしてよもやの逆転負けを喫し予選敗退が確定しながら

も、失意を乗り越えてあとの2戦に勝利を収めてくれた彼らの健闘を讃えたい。本日の勝負は秋。花園へ走り出した彼らの背中を、我々の声援で力一杯後押ししよう。



▲平成23年度県新人大会決勝戦
東福岡のディフェンスを振り切って中央に先制トライ!

ラグビー部支援募金 有難うございました。

この度は、母校ラグビー部の「全国選抜大会」ならびに「ワールドユース交流大会」への出場にあたり、当ホームページでの募金の呼び掛けに応じていただきました皆さん、誠に有難うございました。

4月20日をもって当募金も受付期間が終了しました。皆様に代わりまして寄付総額81,000円を、募金いただきました皆さんのお名前とともに、4月25日にラグビー部に手渡して参りました事を、ここにご報告申し上げます。

全国選抜大会においては、健闘及ばず残念ながら予選リーグ2勝1敗ということで決勝トーナメントに進む事はできませんでしたが、九州ブロックの代表として現役諸君はよく戦い、ラグビー部始めて以来となる全国大会2勝を成し得ております。

この大会を通して得られた貴重な経験を糧に、夢の実現に向けて一步一步前進していく現役諸君に対し、今後とも皆さんからのご支援、応援をお願いします、ご報告といたします。



井上尚馬キャプテンと
筑心会 木原会長▶

後輩達の今！

県大会の常連校を目指して！

女子ソフトテニス部



校舎南側に位置するテニスコートに元気な声が響く。女子ソフトテニス部は5月に新チームに移行し、2年生16人、1年生22人(マネージャー1人の計38人)で活動している。キャプテンの早川茜さんは、新チームで重視していることを「ボールを打つときにきちんと大きな声を出すこと」と話す。部内は活気にあふれている。

部を引っ張る2年生は、頑張り屋でしっかりしている部員が多いといい、顧問の長野隆先生や卒業生のサポートも受けながら、主体的に部活動に取り組んでいる。部員が多いため、一人のボールを打つ機会が増えるように練習メニューにも工夫を凝らす。

「ソフトテニスは1人ではなくペアでやる競技。ペアで協力して戦い、団



体戦でもそれぞれのペアがミスをカバーしあう。その分、勝ったときの喜びは大きい」と副キャプテンの椎葉さつきさんは競技の魅力を語る。

女子ソフトテニス部は、昨秋の新人戦団体戦で、念願の「県大会出場」を果たした。引退した3年生中心のチームで、大会前は、朝の補習前や昼休みも自主練習を重ねたという。中部ブロック予選では試合を重ねていく中でもめきめきと成長。気迫で他校を圧倒し続け、地区5位で県大会に進むことができた。

「今年のチームの目標は九州・全国総体予選の団体戦で、再び県大会に出場すること」と早川さん。個人戦での県大会出場も含め、県大会の常連校を目指して、コートに立つ。

『ESS』頑張ってます！

英語研究部(ESS)は3年生4人、2年生8人、1年生2人の男女計14人で活動している。

ESSが、活動の中で一番力を入れているのが6月の筑紫祭での出し物。一昨年は英語劇「シンデレラ」、去年は人形劇「白雪姫」を披露した。そして今年、英語のやりとりを取り入れたスタンブラリーに挑戦。取材した5月中旬は、真剣な表情で準備に取り組み部員の姿があった。

部長の原口さんは「外国の文化とにかく興味があり、外国の人たちとコミュニケーションがとりたいと思ってESSに入った」と話す。その他の部員たちも「英語が好きになれるように」「楽しそつだつたから」「ネイティブと会話ができるから」など元気に答えて

くれた。

部員全員がとても仲が良く、上級生と下級生との間にしっかりとした信頼関係ができてきている様子も印象的なESS。

指導役は、古賀先生、江口先生、そして外国語指導助手(ALT)のシーラ先生。シーラ先生はアメリカから筑紫高校に着任して5年。毎日部員たちに色々なアイデアやアドバイスをくれるそつだ。部員たちは「シーラ先生あつてのESSです」と信頼を寄せ、シーラ先生は部員たちを「最高の友達であり、最高の弟、妹たち」と見つめている。

「世界中に友達を作りたい」。そんな大きな夢を抱き、ESSの歴史は紡がれている。

英語研究部

